

ネクロマンティック [特別編] (1995)

NEKROMANTIK

メディア 映画

ジャンル モンド

製作国 ドイツ

時間 120分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

製作国ドイツはもとより世界各国で上映禁止となり、製作に関する全ての素材の廃棄処分を迫られた“NEKROMANTIK”、“NEKROMANTIK 2”の二作を、監督自らが再編集し日本でビデオ・リリースとなった問題作。死体の一部をコレクションする男を主人公にした前半と、その男の死体を墓から盗み出した女を主人公にした後半とに分かれている。殺人描写の迫力は凄まじいものの、単なるエロティック・サスペンス、もしくは変態ポルノに収まった後半はさておき、衝撃的なのは前半部分。死体を盗み出した主人公がそれに疑似ペニスを突き立てて恋人との三人プレイに耽けるシーンや、霞みかかった草原で白いワンピースを着た美しい少女と腐乱した生首をキャッチボールしあい恍惚となる主人公の描写。自らの腹を引き裂き、死の苦痛と悦楽に酔いどれながら壮絶な死を遂げるラストまで、支持するか拒絶するしか無い圧倒的な負の芸術が一時間の間に詰め込まれている。グロテスクの中に潜む芸術性とエロスを巧みに表現したこの作品は、「世界残酷物語」に代表される見せ物小屋的なモンド映画や、「2000人の狂人」のようなスプラッタとも違い、むしろ「アンダルシアの犬」のような前衛映画に近いテーマを持っているようにも感じる。またダクトリ・ロレンツによる音楽の挿入も的確でネガティブ・ムーブメントを代表する一本といってもいいだろう。

【クレジット】

監督	ユルグ・ブットゲライト	Jorg Buttgerreit
製作	マンフレッド・O・イエリンスキー	Mangred O. Jelinski
原作	ユルグ・ブットゲライト	Jorg Buttgerreit
	マンフレッド・O・イエリンスキー	Mangred O. Jelinski
脚本	ユルグ・ブットゲライト	Jorg Buttgerreit
	フランツ・ローデンキルヒェン	Franz Rodenkirchen
撮影	ウーエ・ボーラー	Uwe Bohrer
音楽	ダクトリ・ロレンツ	Daktari Lorenz
出演	ダクトリ・ロレンツ	Daktari Lorenz
	ベアトリス・M	
	モニカ・M	
	マーク・リーダー	Marc Leader